

『紫白の猛き徴』

強い秋田工業を



主将

鈴木 颯太

昨年の花園では一回戦敗退という悔しい結果に終わりました。そこからFWのセットプレーの強化とDFの強化に重点を置いて練習してきました。その結果、東北大会で優勝することができました。

今年のチームは、一昨年、昨年と違い他県のチームとの試合の機会が多くありました。また、二年ぶりに菅平の地で強化合宿をさせて頂きました。多くの試合をしていくうちに全国のレベルの高さを痛感したと共に、モールなどのセットプレーや、DFは通用した場面が多かったです。予選までにチームの強みであるセットプレー、DFに更に磨きをかけていきます。また、勝つためにはATも強化しなければいけません。はやいテンポでアタックが体現できるよう、一日一日を大切に練習に取り組んでいこうと思います。

チーム全員で一つにまとまり、チーム全員で花園への切符を勝ち取ります。そして花園の舞台で活躍します。応援よろしくお願ひします。

成長



副主将

金森 皇成

昨年の花園大会では初戦敗退という結果でした。悔しさと自分の不甲斐なさが残る試合でした。この悔しさをバネに、冬の体力作り、基礎練習を徹底して行いました。全国選抜大会では、課題が多く見つかりとても収穫のある大会でした。

今年のチームはディフェンスにフォーカスして練習をしてきました。全県総体での秋田中央戦では日々の練習の成果を出すことができ、無失点で勝つことができました。八月十日から十五日の間は菅平合宿を行いました。全国での自分達の立ち位置を確認することができ、大きく成長することができました。とても充実した合宿でした。

花園大会は三年生にとって最後の試合になります。後悔の無いようにこれからの練習に取り組んでいきたいと思っています。応援よろしくお願ひします。

秋工ラグビーを全国へ



副主将

三浦 慶仁

昨年度は秋田県予選の決勝で秋田中央高校に勝利し、二年連続花園出場することができました。全国大会では一回戦で松山聖陵高校に惜敗し、とても悔しい結果となりましたが、メンバーに入っていた二年生だった私達は全国の厳しさと自分のチームの力量を知る

ことができました。

今年是全国選抜大会や七人制大会などで全国の強豪校と試合をし、改めて新チームの立ち位置を確認することができました。また夏期休業中に二年生のときにコロナの影響で行けなかった菅平合宿に行くことができ、勝利することもできました。

刻々と花園予選、花園本大会が近づいてきました。限りある時間を大切に後悔のないよう全力を尽くし、花園の舞台で秋田工業のラグビーをします。応援よろしくお願ひします。

三年連続の花園へ



副主将

黒澤 航希

昨年の花園では、初戦敗退という結果でも悔いの残る試合でした。花園大会終了後に新チームとなり、冬の期間は体力作りとタックル練習を多く重ねて成長することができました。春の全国選抜大会では、全国とのレベルの差を実感し、多くの課題を発見することができました。

今年、七人制大会や菅平合宿など全国の強豪校と試合をする機会があり、夏の時点での自分たちのチームの立ち位置を再確認することができました。チームとしての課題、個人としての課題を日々の練習で改善し、レベルアップにつなげていきたいです。

三年生は、最後の花園大会となります。限られた時間を大切に過ごし、少しでも成長できるように日々の練習に

全力で取り組み、悔いのないよう一戦一戦、戦います。そして、支えてくださった保護者や関係者の方々、これまで指導してくださった指導者やOB、全ての方々への感謝の気持ちを忘れずに戦います。

応援よろしくお願ひします。

花園に向けて



一年生代表

三浦 勇大

私たち一年生はこの春、この伝統あるラグビー部へ入部しました。十六回目の全国優勝へ貢献できるよう日々の練習に励んでいます。

この夏は学校での二部練と菅平合宿へ参加しました。合宿は、思っていた以上にきつくて練習をこなせるか不安でしたが、部員全員で声をかけあつて最後まで乗りきることができました。特に、最後のランパスは全員で励ましあつて走りきることができ達成感を味わうことができました。

菅平合宿では、他県の強豪チームと戦うことができ、皆さんの経験を積むことができました。この合宿で改めて伝統あるラグビー部の一員であることを実感しました。

もう少しで花園予選が始まります。先輩達が花園優勝に向け努力している姿を近くで見えてきたので、先輩方が悔いなく全てを出しきれるようにサポートしていききたいです。